# **5** Customer R

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の 「生の声」をご紹介いたします! 取材:営業部 営業企画支援課

# ふ相続サポー

ぎふ相続サポートセンター(服部会計事務所)に平成28年4月に 導入されたオルフィスFW5230の感想を伺いました。



累計1300件を超える実績を持つ相続税のスペシャリスト事務所でもあります。

創業65年、3代続くTKC全国会岐阜県第一号会員の老舗会計事務所。 地域社会の皆様から頼りにされる会計事務所を目指し、敷居が低くお客様には 担雪埋井(たんせつまいせい)の心を持って「恋人感覚」で接する会計事務所です。 2010年に相続問題に特化した「ぎふ相続サポートセンター」を開設し、相談件数が

※相続問題で頼りになる全国税理士セレクト100に選出。







### お客様との接点を強化するために

ORPHIS導入前は、レーザープリンター2台をフル稼働させ、総勘定元帳の印刷やお客様向け の提案書の印刷を行っていました。特に「総勘定元帳」は会社の規模によって枚数は変わりま すが、平均500枚ほどになることが多く印刷に時間がかかるため、他の職員の印刷などを考慮し 休み時間に印刷するなどして対応してきましたが、ORPHIS導入後は印刷時間が30分から5分と 大幅に短縮された為、仕事の流れを止めずに作業が行える=作業効率が抜群に上がりました。 又、企業税務関係の資料の印刷もORPHISの圧倒的なスピードによって作業負担が大きく減少し た為、当社が7年前から力を入れている相続税務関係の仕事にマンパワーをシフト出来るよう になりました。<mark>印刷作業に時間をかけず、かけるべきところに時間をかける。</mark>この当たり前の事 をORPHISが教えてくれたお陰で、お客様の相談をより親身になって受ける事が出来るようにな りましたね。





#### 相談者の心のバリアフリーを目指して

相続税は「誰に相<u>談したらいいのか、何をしたらいいのか</u>」といった悩みを抱えているお客様が多いので、私たちはお客様の問題を解決し少し でも寄り添えるように相続税サポートを強化しています。

気軽に相談しやすい環境を作る為、相談会やセミナーを積極的に開催していく中でもORPHISはフル活用です。ORPHIS導入前は、セミナー資料はコ ストの悩みからモノクロを中心に印刷していました。相続税は難しい内容や表現が多い上に、参加者は高齢者の割合も高いことから、色彩豊かな 見やすいセミナー資料をコストに悩まされずに作成できる<mark>夢のプリンター</mark>を探していました。

ORPHISは温かみのあるインクジェット方式のため、手に取ったお客様には親近感 (見やすく・解りやすい) を与えているようです。また課題であっ たカラーコストはモノクロコストとほぼ同じなので、気軽に、そして積極的に印刷物のカラー化を促進して、お客様に対する「伝わる資料作り」= 「心のバリアフリー」 を実現できています。

## 敷居が低く、地域の方が誰でも相談出来る会計事務所を目指して

顧問先様に最新の税法や経営アドバイス情報をご案内する目的で、私たちは毎月発行のNEWS LETTERを配布しています。毎月配る冊数が異なる ため、最低印刷部数などの制限が有る外注先にはなかなか依頼が出来ずに困っていましたが、ORPHISは必要な枚数を必要なだけ短時間でキレイ に印刷でき、思い立ったら即行動に移せる非常に役立つプリンターだと実感しています。

また、相続税の提案書なども従来はモノクロで数字だけの味気ないものでしたが、ORPHISはカラー印刷も2円以下で印刷が可能なので、提案書の 親族関係図や財産一覧表などにグラフや数字の色付けを行い、誰が見ても解りやすい資料を作れるよう変えました。複雑な税の関係資料を相談 者が一目で簡単に理解できるカタチに変えることは、お客様に恋人感覚で接することを目標とする私た

ちの責務であると考えています。ORPHISは私たちにとってはかゆいところに手が届く家族のような機械 なのかもしれませんね(笑)

#### 同じ地域密着型の会社として

ジムブレーンさんは機械を販売するだけでなく、当事務所の活動内容や個々の人柄などをよく理解し て迅速に対応して頂ける地域密着型の会社ですね。同じ地域密着型の会社として地域の活性化に向け て共に成長していきたいと思っています。 ジムブレーンさんも、常に時代をリードしお客様に旬な情報を 発信していく会社で有り続けて欲しいですね。

#### 営業 担当者の声 党業相当: 谷目 太志



当初は、IJプリンタでの商談でし た。ヒアリングをしていく中、上記問題点の発掘が出来、課題解 決が出来る機器はオルフィスだ と確信し、自信を持って提案。 TKCシステムとの連携も問題な く、今では無くてはならない存在 になっているようで 常に嬉しく思います。 まだまだ価値共創出来る事はあ

ると思いますのでしっかり手篤く サポートしていきたいですね。